



●緑色は別名

《目次》	1
ラージエルサレムセージ	2
ライムゼラニウム	3
ライラック	4
ラクウショウ	5
ラショウモンカズラ	6
ラップズイセン	7
ラナンキュラス	8
ラナンキュラス・ゴールドコイン	9
ラナンキュラス・ラックスアルテミス	10
ラナンクルス・パルナシフォリウス	11
ラバテラ・トリメストリス	12
ラベンダー	13
ラベンダーセージ	14
ラミウム	15
ラミウム・ビーコンシルバー	16
ラムズイヤー	17
ランタナ	18

[illegible]

【花期 6～7月】



フロミス・ルッセリアナ

2018.6.17長野

フロミス・ルッセリアナ — 〈シソ科〉

トルコ^{げんさん}原産の耐寒性^{たいかんせい}多年草^{たねんそう}。地下茎^{ちかけい}で殖^ふえて群生^{ぐんせい}する。高さ^{たか}1m前後^{ぜんご}。花は黄色^{はな きいろ}。【86】【163】

- 学名 *Phlomis russeliana*。【86】
- 別名 ラージエルサレムセージ。【86】
- 北海道でも外で越冬する。【163】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
フロミス・ルッセリアナ				●	●							



2002.4.22長野／円内2017.5.11松本



葉

2002.4.22長野



実

2017.5.11千曲

ヨーロッパ原産。観賞用に植栽される。高さ2～7m位。幹は直立性、よく分枝、高さ6mあまり。葉は対生、有柄、卵形または広卵形、長さ5～12cm、ふちは全縁、先は尖る。枝先の葉腋から円錐花序を出し、淡紫色の花を密につける、花冠筒形、長さ1cm、先は4裂、強い芳香がある。果実はさく果。[4][5][18][37]

■花が白・赤・青・八重咲きの品種もある。【18】

[illegible]

【花期 4～5月】



ラショウモンカズラ 全体に香気がある【3】

2004.6.5戸隠



花 雄しべ4個。下唇の内側に濃紫色の模様と長い白毛がある【3】 2004.6.5戸隠



萼の先は5浅裂【3】 2004.5.15軽井沢



若葉

1999.5.20鬼無里

ラショウモンカズラ 羅生門蔓 (シソ科ラショウモンカズラ属)

山^{やま}の木陰^{こかげ}に生^はえる多年草^{たねんぞう}。茎^{くき}は長^{なが}く地^ちを這^はい、節^{ふし}から根^ねを出^だす。花^{はな}茎^{けい}は直^{ちよく}立^{りつ}、高^{たか}さ15～40cm。葉^はは対^{たい}生^{せい}、長^{なが}さ2～5cm、卵^{らん}心^{しん}形^{けい}、ふち^{ふち}に粗^{あら}い鋸^{きょ}歯^し、下^か部^ぶの葉^{えい}柄^{へい}は長^{なが}く、上^{じやう}部^ぶはほとんど無^む柄^{へい}。花^{はな}柄^{へい}上^{じやう}部^ぶの葉^{えい}腋^{えき}から大^{おほ}形^{がた}の唇^{しん}形^{けい}花^かを一^{いっ}方^{ぽう}に向^むけ数^{すう}個^こ、花^{はな}冠^{かん}紫^{むらさ}色^{しいろ}、長^{なが}さ4～5cm、下^か唇^{しん}の幅^{はば}は大^{おほ}きい。果^か実^{じつ}は4個^この分^{ぶん}果^か。【3】【8】【32】【42】

■名^なは、太^{おほ}い花^{はな}冠^{かん}を京^{きやう}都^との羅^ら生^{せい}門^{もん}で渡^わ辺^{へん}綱^{なづな}(わたなべのつな)が切^きり落^おとし鬼^{おに}女^めの腕^{うで}になぞらえた。【18】

■花^{はな}は、日^{にっ}本^{ぽん}のシ^しソ^そ科^かで最^{さい}も大^{だい}きい。【25】

花 ^{はな} 撮 ^と 影 ^{えい} 月 ^{げつ}	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラショウモンカズラ												

【花期 3~4月】



ラッパズイセン

2003.4.17戸倉



花 らっぱ、口紅、八重咲きスイセンなどの品種がある【5】

ラッパズイセン 喇叭水仙 〈ヒガンバナ科スイセン属〉

欧州原産。明治末に渡来。観賞用に栽培する多年草。葉は5～6個
直立、長さ30cm内外、灰緑色。高さ20～30cmで2稜形の花茎に1
花、横向きまたは斜め上向き、花被片6個、副花冠は径3cm位、
花被片と同長かそれより長い、雄しべ6個。多くの変種や園芸品
種がある。[18][25]

■名は、副花冠がラッパ状になるから。【18】 ■スイセンの名は、漢名水仙の音読み。

【3】【18】 ■スイセンの源をたどれば、シルクロードをギリシャ神話と共に旅してきたようだ。美少年ナルシスが水中に散った化身がスイセン。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
スイセン	(	(	(	(	(	(						

スイセン



A close-up photograph of a Ranunculus 'Orange' flower. The flower is a large, double-flowered variety with numerous petals that are a vibrant orange-red color. The petals are arranged in a dense, ruffled pattern. The flower is supported by a green stem with several green, deeply lobed leaves. In the background, there are other plants and a black plastic container, suggesting a nursery or garden setting.

[illegible]

【花期 4~6月】



ラナンキュラス・ゴールドコイン

2015.5.13駒ヶ根

ラナンキュラス・ゴールドコイン —— 〈キンボウゲ科キンボウゲ属〉

ヨーロッパ^{げんさん}原産のラナンキュラス・レブンス^{えんげいひんしゅ}の園芸品種。匍匐枝^{ほふくし}をのばして繁殖^{はんしよく}する多年草^{たねんそう}。高さ15~40cm。花^{はな}は八重^{やえ}、黄色^{きいろ}、
径^{けい}2~3cm。[58][78]

- 英名Ranunculus'Gold coin'。【58】
■耐寒性があり、グランドカバーとしても利用される。【58】

[illegible]

【花期 5～6月】



ラナンクルス・パルナシフォリウス

2013.6.17白馬五竜高山植物園

ラナンクルス・パルナシフォリウス —— 〈キンボウゲ科キンボウゲ属〉

ヨーロッパアルプスやピレネー山脈の標高1900～2900 mの石灰岩台地に自生。高さ10～15cm。葉は卵心形または広披針形、肉厚、光沢のある深い緑色。梅鉢紋に似た白い花をつける。[125][168]



梅鉢紋

■学名 *Ranunculus parnassifolius*。[168]

■*Ranunculus*＝ラナンキュラス＝秋植えの球根植物。品種改良で今の姿に。[114]

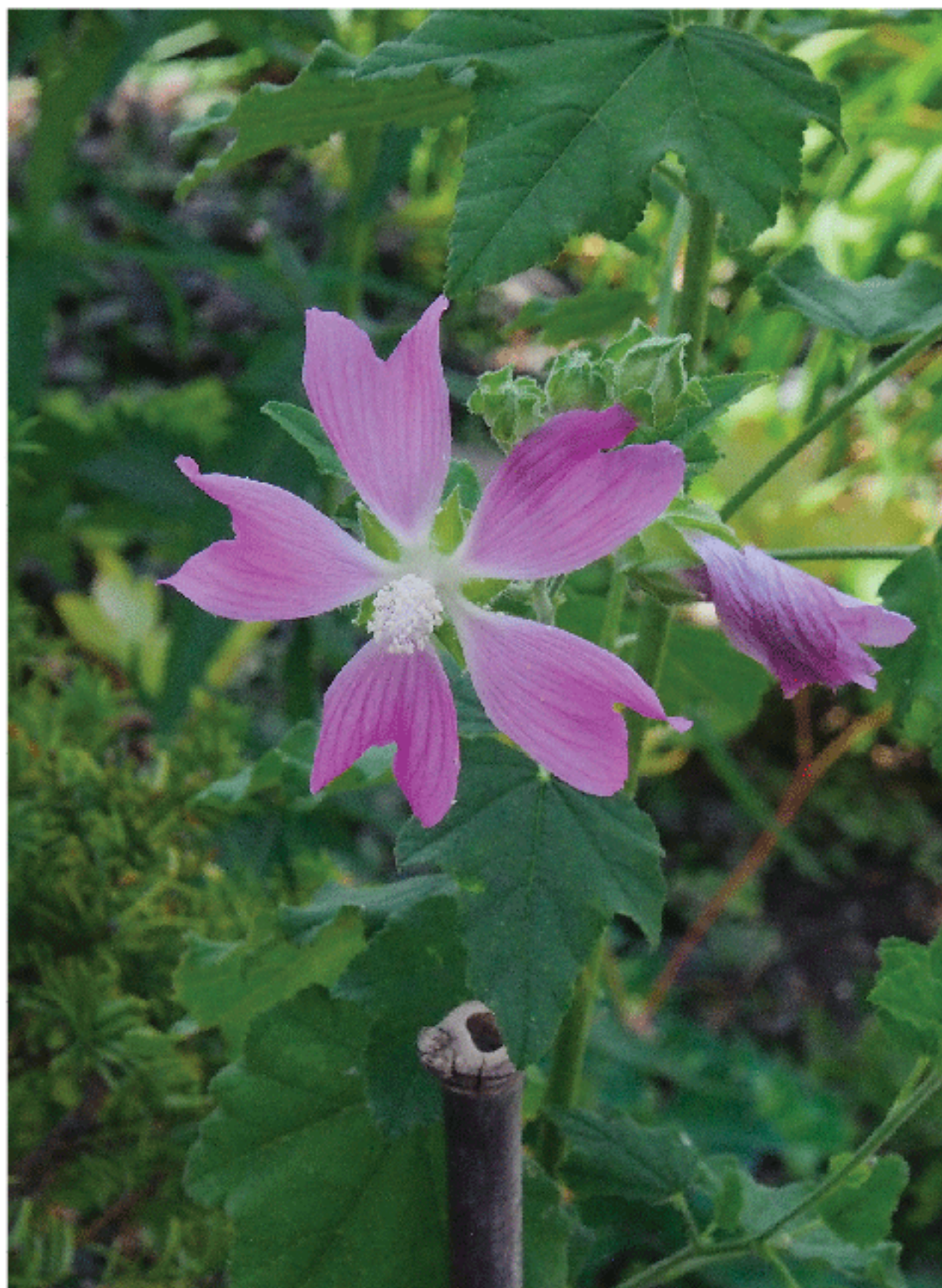
■別名 ウメバチキンボウゲ(梅鉢金鳳花)。[125]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラナンクルス・パルナシフォリウス				○								

ラナンキュラス・ラックスアルテミス — 〈キンボウゲ科〉

■日光が当てるとより輝き、非常に美しい。【93】

[illegible]



ラバテラ・トリメストリス

2015.7..21小諸

ラバテラ・トリメストリス — 〈アオイ科ラバテラ属〉

ちちゅうかい えん がん げん さん
地中海沿岸原産。【106】

■ Lavatera trimestris。【106】

■ 日本にはトリメストリスという品種が明治時代に渡来し、花アオイという和名がある。【106】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラバテラ・トリメストリス					●	●						

【花期 5～6月】 常緑小低木



ラベンダー 花冠は芳香がある【37】

2016.6.5池田

ラベンダー — 〈シソ科シソ属〉

みなみ ちゆうかい えんがん げんさん こうりょう と かんしやう
 南ヨーロッパ、地中海沿岸原産。香料を採るため、あるいは観賞
 用として栽培される。高さ0.3～1m。枝は直立、葉は楕円状線形
 ～披針形、長さ2.5～4cm、全縁。枝先に長さ約20cmの穂状花序
 をつけ、1段6～10個の花を輪生、花冠は筒状唇形、淡紫色(ラベン
 ダー色)。園芸品種は多く、花の色も多彩。【18】【37】【58】

■名は、洗うの意のラテン語lavare(ラワーレ)に由来。古代のギリシャ、ローマ時
 代に入浴用香水として疲労回復に用いたという。【5】【25】【58】

■新葉や茎に白色の綿毛が密生。【37】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラベンダー			●	●	●●●●	●●						

【花期 5～12月】 多年草・常緑亜低木～小低木



ラベンダーセージ

2015.6.13小諸

ラベンダーセージ —— 〈シソ科アキギリ属〉

ブルーサルビアの園芸品種。花壇植えにされる。茎は根元からよく分枝、直立。高さ80～150cm。葉は対生、長卵形、長さ5～8cm。茎の先に10数～数10段の輪散花序をつける。花は唇形花、紫色～青紫色、上唇は毛羽だつ、下唇には白い斑が入る。[58][84][86]

- 名は、花の形がラベンダーに似ているので。[58]
- 別名サルビア・インディゴスパイアー。[58]
- とても優秀なサルビアで、夏・秋花壇の背景におすすめ。[86]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラベンダーセージ				●								

【花期 春～初夏】



キバナオドリコソウ ガルオブドロロン種【83】

2014.5.1長野



ラミウス・ビーコンズシルバー マクラツム種【83】

2016.6.6塩南木曾

ラミウム —— 〈シソ科〉

アジアの^{おんたい}温帯、北^{きた}アフリカ、ヨーロッパなどに凡そ40種が分布する。^なラミウムの名で出^{でまわ}回るのは、ピンクの花^{はな}を咲^さかせるマクラツム種と、黄色の花^{はな}を咲^さかせるガリオブドロロン種。【77】【84】【114】

- 名は、ギリシア語のライモス(laimos=喉)からきており、花の付け根が筒状で、長くのびているところから。【77】
- オドリコソウやホトケノザと同じ仲間。【77】
- 匍匐性で地面を這うように広がるのでグランドカバーとして利用できる。【114】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラミウス		●●●●●						●				

【花期 5～6月】



ラミウム・ビーコンシルバー

2016.6.6塩南木曾

ラミウム・ビーコンシルバー — 〈シソ科オドリコソウ属〉

ちちゅうかい えんがん げんさん じょうりょく たねんそう くき ほふく なが たか
地中海沿岸原産の常緑多年草。茎は匍匐して長くのびる。高さ10
～15cm。葉は白い斑が入る。【93】

■学名 *Lamium maculatum* 'Beacon silver'。【93】

■属名のラミウムはギリシア語のライモス (laimos) = 喉 (のど) からきており、花の付け根が筒状で、長くのびていることにちなむ。【77】

■オドリコソウやホトケノザノ仲間。【93】

■横に這うように広がる性格からハンギングやグランドカバーに最適。【93】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラミウム・ビーコンシルバー				●●								

【花期 5~7月】



ラムズイヤー

2015.5.29小諸

ラムズイヤー — 〈シソ科イヌゴマ属〉

小アジアから東西アジアに分布。全体に柔らかな毛で被われる。
高さ40～80cm。葉は対生、卵形。ロゼット状の株から花茎を直立する。花は小さな赤紫色。[58][77][83]

■名は、子山羊のような葉の形から。【58】 ■英名Lamb's ears。【58】

■ラム(Lamb)＝生後一年以内の小羊。またその肉。【5】

■別名ワタチヨロギ(綿草石蚕)。【58】

■マット状に広がるので、地面を被うグランドカバーに利用したり、花壇や寄せ植えにも利用できる。【77】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ラムズイヤー													

A close-up photograph of a Lantana plant. The image features several large, green, serrated leaves with prominent veins. Interspersed among the leaves are clusters of small, five-petaled flowers in various colors, including bright yellow, vibrant pink, and deep red. The background is dark and out of focus, highlighting the plant's foliage and blossoms.

2015.7.4長野

■学名 *Lantana camara* (ランタナ・カマラ)。【58】 ■別名 シチヘンゲ (七変化)。【78】
■採りが果実を食べて播種(はしゅ)するので、熱帯・亜熱帯では猛烈に繁殖。刺のある藪になり、始末におえない。温暖化する日本でも、暖地は要注意。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ランタナ												